

青年重役会員らが
長良川鵜飼を楽しむ

岐阜信用金取引先

岐阜信用金庫の取引先の
若手経営者でつくるぎふし
ん青年重役会の会員ら16
5人が2日、岐阜市の長良
川鵜飼の観覧船に乗船し、
鵜と鵜匠が繰り広げる伝統



長良川鵜飼を楽しむぎふしん
青年重役会の会員ら＝岐阜市
の長良川

漁法を楽しんだ。

同金庫と青年重役会が同
日共催した合同講演会の
後、会員同士の交流に加え
長良川鵜飼を盛り上げよう
と乗船した。

手配した全5隻のうち、
1号船には、講演で講師を
勤めた歴史学者の磯田道史
国際日本文化研究センター
教授(53)や同金庫の好岡政
宏理事長、住田裕綱相談役、
会員ら31人が乗船。船頭か
ら鵜飼の歴史の説明を受け

ながら、幻想的な漁風景を
満喫した。

長良川鵜飼を初めて見た
磯田教授は「鵜匠が神主と
同じ風折烏帽子をかぶり、
長良川の風が火の粉と相ま
つて視覚的に趣がある。感
動した」と話した。

(松浦健司)